



ご挨拶

紀の川市立打田中学校
令和7年4月14日 発行
校長 三嶋和哉

この度、打田中学校の校長に着任いたしました、三嶋和哉と申します。
前職の紀の川市教育委員会勤務を経て、学校現場に立つこととなり、大変光栄に感じております。

校長として、生徒一人ひとりが安心して学べる環境を整え、教職員との協力を通じて学校のさらなる発展に努めてまいります。

本校の校訓である「強く、正しく、朗らかに」を念頭に置いて、地域と学校がより緊密に連携できる取り組みを推進してまいります。

そして、生徒が自分の可能性を信じ、社会の一員として活躍できる力を身に付ける支援を心がけます。

保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員と共に、笑顔があふれる学校づくりを目指して尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

始業式でお話ししたことを一部抜粋して紹介します。

①「ありがとう」のあふれる学校に

ありがとうは、周りの人に感謝することの大切さを言葉で表すことになります。

一見すると簡単なことですが、頭でわかっているにもかかわらず簡単ではありません。

私たちは一人では生きていけません。友達、先生、家族の人たちがいつもみなさんを応援しています。

一人一人の支えが、みなさんのこれからの成長を支えてくれます。

ぜひ「ありがとう」の気持ちを忘れずに過ごしてください。

②がんばったことは必ず自分に返ってきます。怠けたことも自分に返ってきます。

すぐに結果がでなくても頑張って取り組んだことは、必ず自分の成長につながります。

壁にぶつかった時に逃げずに頑張ったことほど自分にとって大きな力となります。

でも同じように怠けたことも必ず自分に返ってきます。

自分に負けない気持ちを大切にしてください。

今週17日（木）には全国学力・学習状況調査があります。国公私立の小学校6年生と中学校3年生を対象に、学力や学習状況を把握・分析するため、毎年1回実施している全国調査。

CBT（Computer-based Testing）への移行が進められており、2024年度から児童生徒質問で開始、2025年度は中学校理科で導入され生徒は、初めて理科の調査問題に挑戦することになります。みなさんの力が十分に発揮できることを期待しています。

